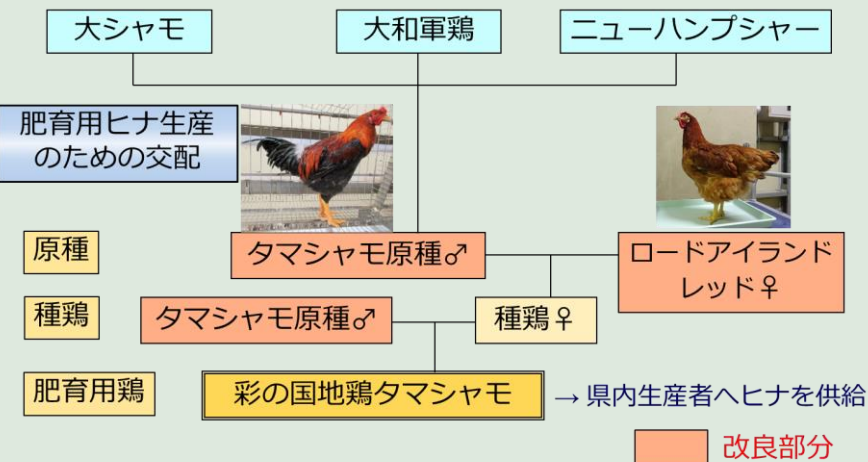


リニューアルした「彩の国地鶏タマシャモ」

タマシャモは、シャモの特徴を色濃く反映したプリプリとした歯応えと濃厚なうま味が自慢ですが、1984年に原種を開発して以来30年以上、限られた集団の中で繁殖を繰り返してきたため血縁が濃くなってきました。そこで、2015年度から他系統を交配した改良に取り組み、この度リニューアルしました。

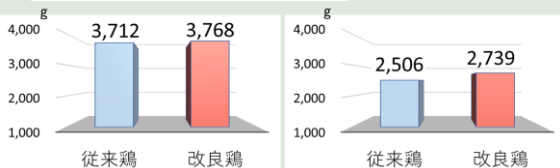
タマシャモの交配図

原種開発のための交配（～1984）



- ◆ タマシャモ原種は、大シャモ、大和軍鶏およびニューハンプシャーを交配し、1984年に完成しました。
- ◆ 農家に配布している肥育用鶏（彩の国地鶏タマシャモ）は、原種とロードアイランドレッドの交配鶏（種鶏）に再度、原種を交配したものです。
- ◆ 今回、原種とロードアイランドレッドにそれぞれ外部導入系統を交配して改良しました。

肥育用鶏（従来鶏と改良鶏）の比較（143日齢）



改良原種の交配により生産した肥育用鶏の平均体重は従来鶏に比べ大きく、飼育期間を従来の150日以上から140日以上に短縮することでコスト削減が図れます。